

専攻教室の紹介

●専攻教室について

本校には、全国の農業大学校の中でも最も多い11の専攻教室があります。専攻教室では、各専攻教室が掲げる到達目標を実現するため、農作物の栽培技術や農業経営の手法について専門性の高い実習に取り組んでいます。特に農場系の専攻教室では、専攻実習等の共同作業を学生が主体的に行うことで、農場管理・運営方法を実践で学びます。

農学科では卒業論文を、研究科では課題研究に取り組みます。特に優秀な課題については、以下のような賞を受賞しています。

全国農業大学校等プロジェクト発表会

R5 農林水産省経営局長賞 (全国第2位)
「規格外レタスの新たな活用方法の開発」(食品加工)

R5 ヤンマーアグリ株式会社賞 (全国第2位)
「倒伏しない『コシヒカリ』の栽培方法の検討」(作物)

R6 農林水産大臣賞 (全国第1位)
「ペースト状人工飼料の開発による飛翔制御したナミテントウの定着持続効果に関する検証」(病虫害)



みどり戦略学生チャレンジ

R5 グランプリ賞 (第1位)
「物理的及び生物的防除を利用した環境保全型農業の実践」(病虫害)

R5 チャレンジ賞
「食品残渣の活用による環境負荷低減への取組」(土壌肥料)

R6 農林水産省大臣官房長賞 (全国第2位)
「スクミリンゴガイ駆除トラップによる環境保全型農業の実践と希少種保全活動によるブランド米開発」(病虫害)



作物専攻教室

アピールポイント 農業機械を使用し、作物の生産手法を学びます。栽培品目は水稲、豆類、雑穀、イモ類など幅広く、作物栽培の基礎から生産上の課題解決手法まで習得できます。

学習到達目標

- 作物の基本的な栽培管理技術の習得
- 生産上の課題解決手法の習得

身に付く知識・技術

- 作物の栽培管理技術
- 農業機械の操作方法、乾燥調製方法
- 作物の生育・収量調査と解析方法
- 作物の販売方法

課題解決型学習の例

- 水稲品種「粒すけ」の高温下での品質把握と対策
- 白色スイートコーンにおける多施肥による増収効果の検討
- ラッカセイ品種「Qなっつ」における経済的な有機栽培方法の確立



施設野菜専攻教室

アピールポイント 自らの責任で育苗から収穫までの野菜栽培管理を実践することで、今までに経験したことのないような達成感と喜びを味わえます。

学習到達目標

- 施設野菜の栽培と経営において必要な知識と技術の習得

身に付く知識・技術

- 果菜類を中心とした施設野菜の栽培技術
- 環境制御ハウスを用いたスマート農業の知識・技術
- 施設の管理方法及び機械の操作技術
- 経営に関する知識及び販売方法

課題解決型学習の例

- 大玉トマトの灌水制限栽培とブドウ糖葉面散布による糖度・収量の違いについて
- ナスの単為結果品種の仕立て方による草勢、収量、品質の違い
- キュウリの摘心栽培と更新つる下ろし栽培による収量の調査及び作業時間の比較



露地野菜専攻教室

アピールポイント 季節の野菜(果菜類、葉茎菜類、根菜類、いも類)を栽培し、観察し、食べることで野菜栽培の基礎知識を習得できます。

学習到達目標

- 主要な露地野菜と無加温ハウスで栽培される野菜の生理生態や肥培管理及び出荷調製技術の習得

身に付く知識・技術

- 野菜の分類と作型
- 野菜の育苗と栽培管理
- 病虫害の診断と対処法
- 品目ごとの経営収支と品目や作型を組み合わせた経営の考え方
- 環境負荷に考慮したエコ農業

課題解決型学習の例

- ミニカボチャの空中栽培による品質向上の検討
- 生分解ポットを用いたオクラの省力化栽培の実証
- 有機肥料を用いた環境負荷の少ないジャガイモ栽培の実証
- サトイモのかん水作業を省力化する畝内かん水の検証

